

# NISSHIN

## KAISER COAT

メッシュフリー高耐久性ウレタン塗膜防水工法  
カイザーコート工法



- 当カタログのデータは全て性能値であり保証値ではありません。
- カタログに記載してある製品の色は実際のものとは印刷インキの再現上、多少異なる場合があります。
- 材料、仕様は予告なく変更する場合があります。
- 製品の保管及び取扱いについては、SDSをご参照の上、ご使用ください。

防水のことがわかるニッシン・オフィシャルサイト <https://www.nisshinkogyo.co.jp/>



総合防水材料メーカー

### 日新工業株式会社

☎0120-86-2424

■本社/営業統括部 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4 TEL.(03)3882-2571  
■関東 TEL.(03)3882-2641 ■九州 TEL.(092)451-1095 ■広島 TEL.(082)541-5033  
■大阪 TEL.(06)6263-7711 ■札幌 TEL.(011)215-1034 ■工場 埼玉・山形  
■名古屋 TEL.(052)933-4761 ■仙台 TEL.(022)393-7209



▲弊社ホームページは  
こちらから

Vol.4 Feb. 2026-2000 GP

## 日新工業株式会社

# カイザーコートの超ハイスペック塗膜物性により メッシュフリー工法を可能にしました。

## 超ハイスペック塗膜物性

JIS A 6021 建築用塗膜防水材  
ウレタンゴム系高伸長形・高強度形の両規格でJIS認証を取得しています。

試験項目	カイザーコート	カイザーコートV	JIS A 6021 規格値	
	代表値		高伸長形	高強度形
引張強さ(N/mm <sup>2</sup> )	12.6	11.2	2.3以上	10以上
破断時の伸び率(%)	663	610	450以上	200以上
抗張積(N/mm)	1670	1380	280以上	700以上
引裂強度(N/mm)	40	40	14以上	30以上

## 工期短縮

X-2仕様に比べ工程が少なく  
メッシュフリーの省力化工法で工期短縮が可能です。

	1	2	3	4	5	6
X-2	プライマー	ウレタン	クロス	ウレタン	ウレタン	トップコート
カイザーコート	プライマー	ウレタン	ウレタン	トップコート		

## 有害物質フリー

特定化学物質(MOCA・TDI)、特別有機溶剤(エチルベンゼン等)、鉛・鉛化合物(鉛触媒等)、ホルムアルデヒド<sup>\*</sup>などの有害物質を含んでいないため、病院等の制約が生じるような場所でも安心してご使用いただけます。\* (F☆☆☆☆取得)

## 建築技術審査証明を取得

日本建築センターの建築技術審査証明事業により、「X-2仕様」及び「L-UFS仕様」に適合する仕様が同等の防水性能を有していることが証明された補強布を不要としたウレタンゴム系塗膜防水工法です。(p.6参照)

### 仕様記号の見方



- ① **防水材** K:カイザーコート
- ② **下地の条件** R:既存ウレタン防水下地・既存露出アスファルト防水下地、S:既存塩ビシート防水下地、M:金属屋根下地、無:コンクリート・モルタル下地
- ③ **工法の種類** F:密着(メッシュ無し)  
CS:技術審査証明取得仕様(セピロン複合)  
CR:技術審査証明取得仕様(リファージュプラス複合)  
DA:絶縁(USシートA)  
DN:絶縁(USシートN)  
M:絶縁(エムイーシート)
- ④ **平均塗膜厚** 15(1.5mm)~30(3.0mm)
- ⑤ **平場or立面** V:立面 無:平場
- ⑥ **仕上塗料の仕様** 内容は右記表参照

## 仕上塗料の仕様

工程 仕様記号	1	2	分類	種類
E	USToppコートEX (0.2kg/㎡)	—	環境対応	HALS含有 アクリルウレタン系
EW	USToppコートEX (0.15kg/㎡)	USToppコートEX (0.15kg/㎡)	環境対応 高耐候	HALS含有 アクリルウレタン系
EC	USToppクールEX (0.2kg/㎡)	—	環境対応 遮熱	HALS含有 アクリルウレタン系
ECW	USToppクールEX (0.15kg/㎡)	USToppクールEX (0.15kg/㎡)	環境対応 高耐候・遮熱	HALS含有 アクリルウレタン系
S	USToppコートSi (0.2kg/㎡)	—	環境対応 高耐候	HALS含有 シリコン変性アクリルウレタン系
SW	USToppコートSi (0.15kg/㎡)	USToppコートSi (0.15kg/㎡)	環境対応 高耐候	HALS含有 シリコン変性アクリルウレタン系
SC	USToppクールSi (0.2kg/㎡)	—	環境対応 高耐候・遮熱	HALS含有 シリコン変性アクリルウレタン系
SCW	USToppクールSi (0.15kg/㎡)	USToppクールSi (0.15kg/㎡)	環境対応 高耐候・遮熱	HALS含有 シリコン変性アクリルウレタン系
Q	USToppコートQ (0.2kg/㎡)	—	環境配慮	アクリルウレタン系
C	USToppクール (0.2kg/㎡)	—	環境配慮 遮熱	アクリルウレタン系
CW	USToppクール (0.15kg/㎡)	USToppクール (0.15kg/㎡)	環境配慮 遮熱	アクリルウレタン系

注) 既存防水層が露出断熱防水の場合は、遮熱塗料を選択ください。

\* 粗面仕上げとする場合は、トップファイラーをトップコート1セット当たり1袋(420g)配合します。2回塗の場合は、2工程目のみに配合します。

## 各部位適用表

工法名	仕様記号	適用部位						
		屋上	バルコニー	ベランダ	階段	庇	金属屋根	掲載頁
密着工法 (コンクリート系下地)	KF-15	—	—	○	—	○	—	p.4
	KF-20	○	○	○	—	○	—	
	KF-25, 30	○	○	○	○	○	—	
密着工法 (既存ウレタン防水下地)	KRF-15	○	○	○	—	○	—	p.5
	KRF-20, 25, 30	○	○	○	○	○	—	
密着工法 (技術審査証明取得仕様)	KCS-30	○	○	○	○	○	—	p.6
	KCR-30	○	○	○	○	○	—	
絶縁工法 (コンクリート系下地)	KDA-20, 25, 30	○	○	—	—	—	—	p.8
	KDN-20, 25, 30	○	○	—	—	—	—	p.9
改質アスファルトシート複合絶縁工法 (コンクリート系下地)	KM-20, 25, 30	○	○	—	—	—	—	p.10
改質アスファルトシート複合絶縁工法 (既存露出アスファルト防水下地)	KRM-20, 25, 30	○	○	—	—	—	—	p.11
改質アスファルトシート複合絶縁工法 (既存塩ビシート防水下地)	KSM-20, 25, 30	○	○	—	—	—	—	p.12
密着工法 (金属屋根下地)	KMF-20	—	—	—	—	—	○	p.14

○:適用可 —:適用外

## 密着工法 (コンクリート系下地)

仕様記号	KF-15	KF-20	KF-25	KF-30 X-2、L-UFS同等
防水材 使用量	1.8kg/m <sup>2</sup>	2.4kg/m <sup>2</sup>	3.0kg/m <sup>2</sup>	3.6kg/m <sup>2</sup>
平均 塗膜厚	1.5mm	2.0mm	2.5mm	3.0mm
工程	平 場			
1	USプライマー-C30※ <sup>1</sup> 0.2kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-C30※ <sup>1</sup> 0.2kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-C30※ <sup>1</sup> 0.2kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-C30※ <sup>1</sup> 0.2kg/m <sup>2</sup>
2	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.5kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>
3	仕上塗料※ <sup>2</sup>	カイザーコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.5kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>
4	—	仕上塗料※ <sup>2</sup>	仕上塗料※ <sup>2</sup>	仕上塗料※ <sup>2</sup>

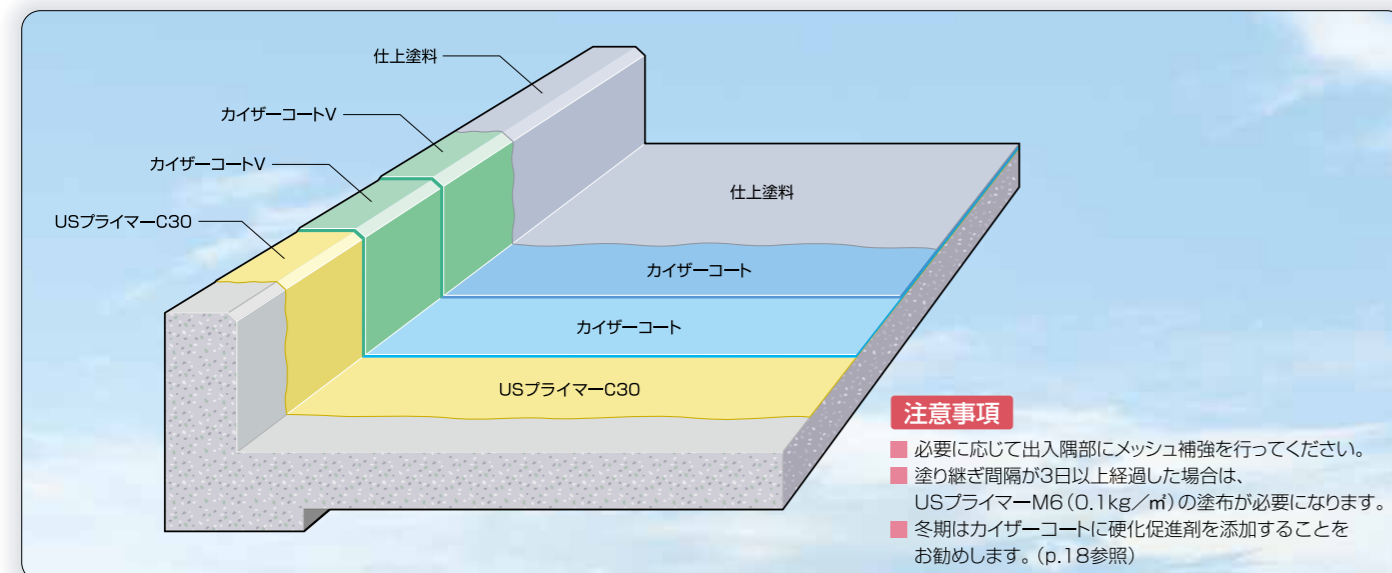
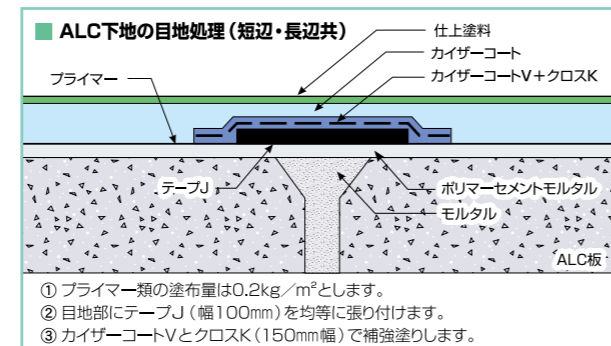
仕様記号	KF-15V	KF-20V X-2、L-UFS同等
防水材 使用量	1.8kg/m <sup>2</sup>	2.4kg/m <sup>2</sup>
平均 塗膜厚	1.5mm	2.0mm
工程	立上り (側溝・巾木)	
1	USプライマー-C30※ <sup>1</sup> 0.2kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-C30※ <sup>1</sup> 0.2kg/m <sup>2</sup>
2	カイザーコートV※ <sup>3</sup> 0.9kg/m <sup>2</sup>	カイザーコートV※ <sup>3</sup> 1.2kg/m <sup>2</sup>
3	カイザーコートV※ <sup>3</sup> 0.9kg/m <sup>2</sup>	カイザーコートV※ <sup>3</sup> 1.2kg/m <sup>2</sup>
4	仕上塗料※ <sup>2</sup>	仕上塗料※ <sup>2</sup>

※1. USプライマー-C30に替えてUSプライマー-C10を使用することもできます。USプライマー-C30(C10)はUSプライマー-C3(C1)とポルトランドセメントを重量比1:0.5~1で混合したものです。ポルトランドセメントの混合無しでも使用可能ですが、混合すると下地からのピンホールを抑制する効果があります。

※2. 仕上塗料は仕上塗料の仕様から選択できます。(p.3参照)

※3. カイザーコート(主剤+硬化剤)に対して増粘剤を重量比で2~3%添加して使用することもできます。(p.17参照)増粘剤を添加した場合、技術審査証明の適用外となります。

● カイザーコート類にセピロンSPトナーを混合し着色することで重ねて施工する際の視認性が向上します。(p.17参照)



## 密着工法 (既存ウレタン防水下地)

仕様記号	KRF-15	KRF-20	KRF-25	KRF-30 X-2、L-UFS同等
防水材 使用量	1.8kg/m <sup>2</sup>	2.4kg/m <sup>2</sup>	3.0kg/m <sup>2</sup>	3.6kg/m <sup>2</sup>
平均 塗膜厚	1.5mm	2.0mm	2.5mm	3.0mm
工程	平 場			
1	USプライマー-M6 0.1kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-M6 0.1kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-M6 0.1kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-M6 0.1kg/m <sup>2</sup>
2	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.5kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>
3	仕上塗料※ <sup>1</sup>	カイザーコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.5kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>
4	—	仕上塗料※ <sup>1</sup>	仕上塗料※ <sup>1</sup>	仕上塗料※ <sup>1</sup>

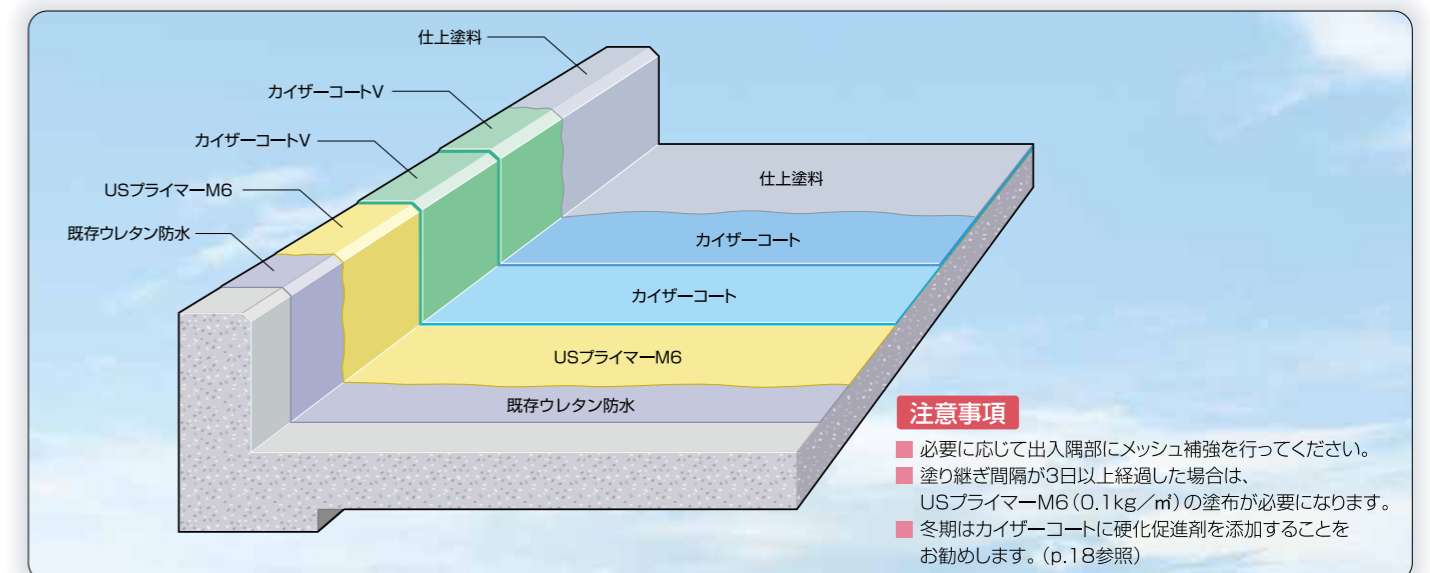
仕様記号	KRF-15V	KRF-20V X-2、L-UFS同等
防水材 使用量	1.8kg/m <sup>2</sup>	2.4kg/m <sup>2</sup>
平均 塗膜厚	1.5mm	2.0mm
工程	立上り (側溝・巾木)	
1	USプライマー-M6 0.1kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-M6 0.1kg/m <sup>2</sup>
2	カイザーコートV※ <sup>2</sup> 0.9kg/m <sup>2</sup>	カイザーコートV※ <sup>2</sup> 1.2kg/m <sup>2</sup>
3	カイザーコートV※ <sup>2</sup> 0.9kg/m <sup>2</sup>	カイザーコートV※ <sup>2</sup> 1.2kg/m <sup>2</sup>
4	仕上塗料※ <sup>1</sup>	仕上塗料※ <sup>1</sup>

※1. 仕上塗料は仕上塗料の仕様から選択できます。(p.3参照)

※2. カイザーコート(主剤+硬化剤)に対して増粘剤を重量比で2~3%添加して使用することもできます。(p.17参照)増粘剤を添加した場合、技術審査証明の適用外となります。

● 既存防水層の状態によっては、適用外となる場合があります。

● カイザーコート類にセピロンSPトナーを混合し着色することで重ねて施工する際の視認性が向上します。(p.17参照)



# 技術審査証明取得仕様 (X-2仕様、L-UFS仕様同等)

適用下地：コンクリート系下地、既存ウレタン防水下地

仕様記号	高伸長形塗膜防水材複合仕様			
	KCS-30	KCS-20V	KCR-30	KCR-20V
防水材 使用量	3.8kg/m <sup>2</sup>	2.5kg/m <sup>2</sup>	3.8kg/m <sup>2</sup>	2.5kg/m <sup>2</sup>
平均 塗膜厚	3.0mm	2.0mm	3.0mm	2.0mm
工 程	平 場	立上り	平 場	立上り
1	プライマー※1	プライマー※1	プライマー※1	プライマー※1
2	セピロンコートQ※2 2.0kg/m <sup>2</sup>	セピロンコートQV※2 1.3kg/m <sup>2</sup>	リファージュコートプラス※2 2.0kg/m <sup>2</sup>	リファージュコートプラスV※2 1.3kg/m <sup>2</sup>
3	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>	カイザーコートV※3 1.2kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>	カイザーコートV※3 1.2kg/m <sup>2</sup>
4	仕上塗料※4	仕上塗料※4	仕上塗料※4	仕上塗料※4

※1. 適用プライマー

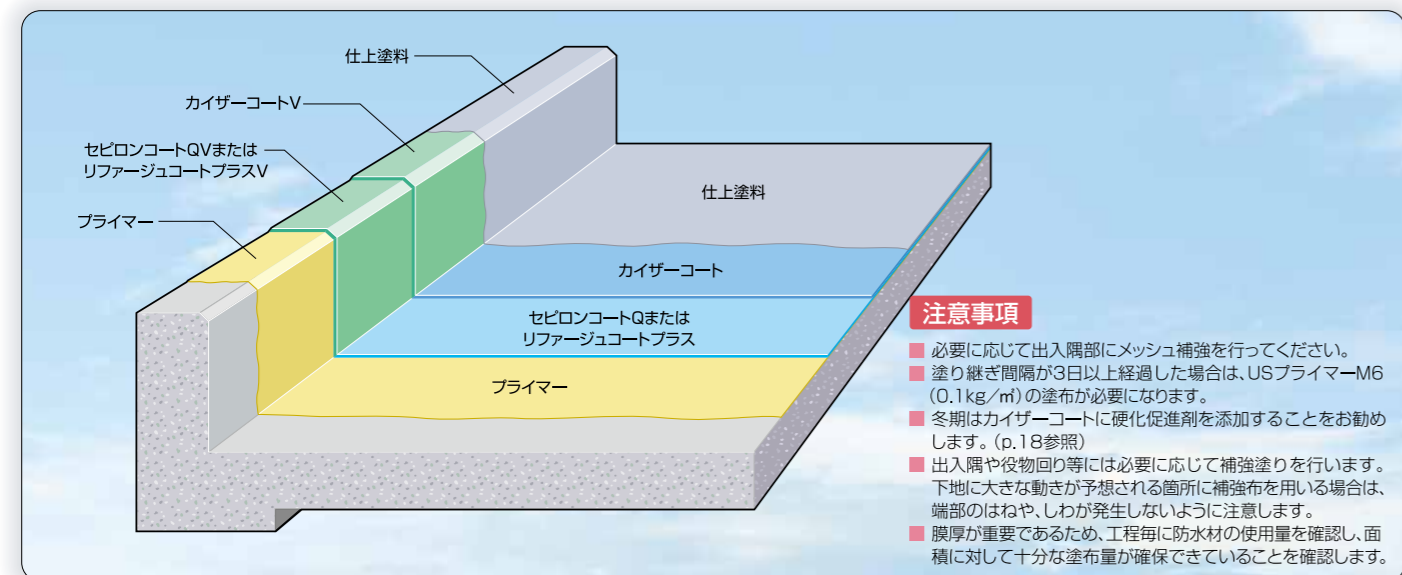
下 地	プライマー	使用量	備 考
コンクリート系	USプライマー-C30	0.2kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-C30はUSプライマー-C3とポルトランドセメントを重量比1: 0.5~1で混合したものです。
	USプライマー-C10	0.2kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-C10はUSプライマー-C1とポルトランドセメントを重量比1: 0.5~1で混合したものです。
	USプライマー-M4E	0.2kg/m <sup>2</sup>	高伸長形塗膜防水材複合仕様のみ使用可能です。カイザーコート及びカイザーコートVは直接塗布できません。
既存ウレタン防水	USプライマー-M6	0.1kg/m <sup>2</sup>	

※2. セピロンコートQ、リファージュコートプラスはカイザーコートに、セピロンコートQV、リファージュコートプラスVはカイザーコートVに変更可能です。

その場合の使用記号は「KF-30」「KRF-30」「KF-20V」「KRF-20V」となります。(p.4-5参照)

※3. カイザーコートV +増粘剤に変更した場合、技術審査証明の適用外となります。

※4. 仕上塗料は仕上塗料の仕様から選択できます。(p.3参照)



# 公共建築工事標準仕様書 日本建築学会建築工事標準仕様書JASS8

仕様記号	X-2 L-UFS			
	平 場		立上り	
平均 塗膜厚	3.0mm		2.0mm	
工 程	内 容	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	内 容	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )
	1	プライマー塗り	—	プライマー塗り
2	補強布張付け (ウレタンゴム系 高伸長形防水材)	3.9*	補強布張付け (ウレタンゴム系 高伸長形防水材)	2.6*
3	ウレタンゴム系 高伸長形防水材塗り		ウレタンゴム系 高伸長形防水材塗り	
4	ウレタンゴム系 高伸長形防水材塗り		ウレタンゴム系 高伸長形防水材塗り	
5	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り	—

※硬化物比重が1.3の材料の場合の使用量のため、硬化物比重が異なる場合は使用量調整をする。

## 技術審査証明について

カイザーコート工法において、日本建築センターの技術審査証明事業により、公共建築(改修)工事標準仕様書「X-2仕様」および日本建築学会JASS8「L-UFS仕様」と補強布なしの下記仕様において同等の性能を有していることが証明されています。

種 別	公共建築(改修)工事標準仕様 日本建築学会JASS 8	平場同等仕様	立上り同等仕様
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 L-UFS	KF-30	KF-20V
		KRF-30	KRF-20V
		KCS-30	KCS-20V
		KCR-30	KCR-20V



## 絶縁工法（コンクリート系下地）

仕様記号	KDA-20	KDA-25	KDA-30	KF-20V
防水材 使用量	2.5kg/m <sup>2</sup>	3.1kg/m <sup>2</sup>	3.7kg/m <sup>2</sup>	2.4kg/m <sup>2</sup>
平均 塗膜厚	2.0mm	2.5mm	3.0mm	2.0mm
工程	平 場			立上り
1	USボンド <sup>※1</sup> 0.3kg/m <sup>2</sup>	USボンド <sup>※1</sup> 0.3kg/m <sup>2</sup>	USボンド <sup>※1</sup> 0.3kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-C30 <sup>※2</sup> 0.2kg/m <sup>2</sup>
2	USシートA (突付け部：USテープ)	USシートA (突付け部：USテープ)	USシートA (突付け部：USテープ)	カイザーコートV <sup>※3</sup> 1.2kg/m <sup>2</sup>
3	カイザーコートV <sup>※3</sup> 1.3kg/m <sup>2</sup>	カイザーコートV <sup>※3</sup> 1.3kg/m <sup>2</sup>	カイザーコートV <sup>※3</sup> 1.3kg/m <sup>2</sup>	カイザーコートV <sup>※3</sup> 1.2kg/m <sup>2</sup>
4	カイザーコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	仕上塗料 <sup>※4</sup>
5	仕上塗料 <sup>※4</sup>	仕上塗料 <sup>※4</sup>	カイザーコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	—
6	—	—	仕上塗料 <sup>※4</sup>	—

※1. USボンドに替えてボンドK (0.3kg/m<sup>2</sup>)を使用することもできます。

※2. USプライマー-C30に替えてUSプライマー-C10を使用することもできます。

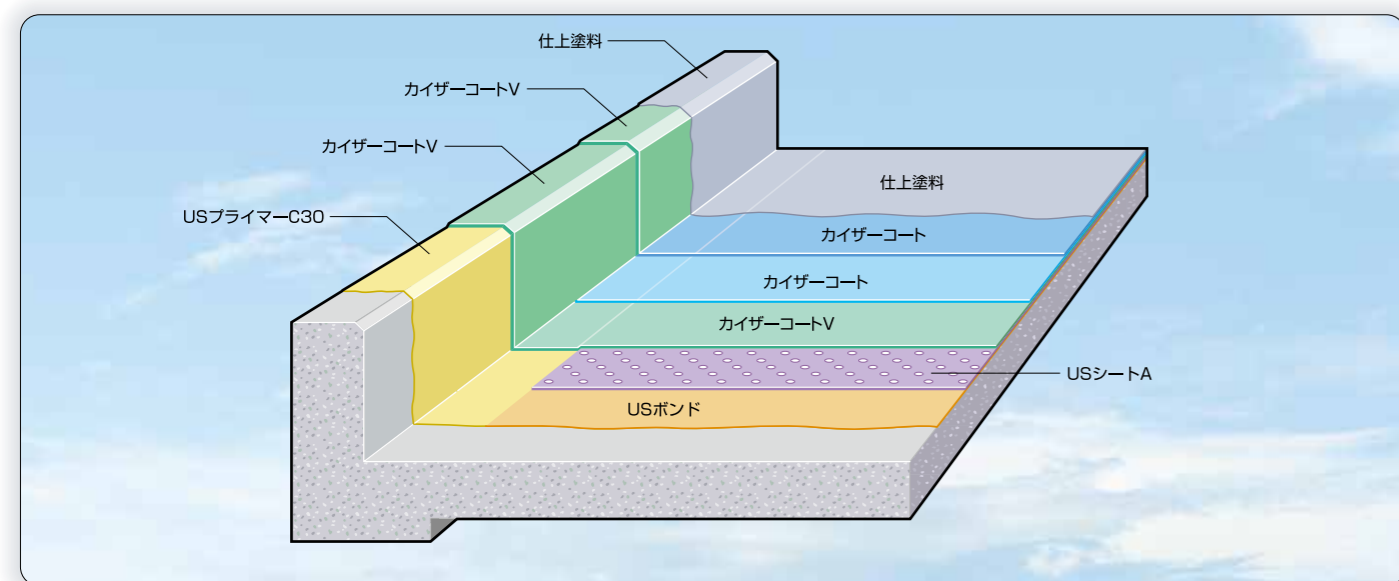
USプライマー-C30 (C10)はUSプライマー-C3 (C1)とポルトランドセメントを重量比1:0.5~1で混合したものです。

ポルトランドセメントの混合無しでも使用可能ですが、混合すると下地からのピンホールを抑制する効果があります。

※3. カイザーコート(主剤+硬化剤)に対して増粘剤を重量比で2~3%添加して使用することもできます。(p.17参照)

※4. 仕上塗料は仕上塗料の仕様から選択できます。(p.3参照)

● カイザーコート類にセピロンSPTナーを混合し着色することで重ねて施工する際の視認性が向上します。(p.17参照)



### 注意事項

- 塗り継ぎ間隔が3日以上経過した場合は、USプライマー-M6 (0.1kg/m<sup>2</sup>)の塗布が必要になります。
- 脱気装置を50~100m<sup>2</sup>に1個設置してください。
- 冬期はカイザーコートに硬化促進剤を添加することをお勧めします。(p.18参照)

## 絶縁工法（コンクリート系下地）

仕様記号	KDN-20	KDN-25	KDN-30	KF-20V
防水材 使用量	2.4kg/m <sup>2</sup>	3.0kg/m <sup>2</sup>	3.6kg/m <sup>2</sup>	2.4kg/m <sup>2</sup>
平均 塗膜厚	2.0mm	2.5mm	3.0mm	2.0mm
工程	平 場			立上り
1	USボンド <sup>※1</sup> 0.3kg/m <sup>2</sup>	USボンド <sup>※1</sup> 0.3kg/m <sup>2</sup>	USボンド <sup>※1</sup> 0.3kg/m <sup>2</sup>	USプライマー-C30 <sup>※2</sup> 0.2kg/m <sup>2</sup>
2	USシートN (突付け部：USテープ)	USシートN (突付け部：USテープ)	USシートN (突付け部：USテープ)	カイザーコートV <sup>※3</sup> 1.2kg/m <sup>2</sup>
3	カイザーコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.5kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>	カイザーコートV <sup>※3</sup> 1.2kg/m <sup>2</sup>
4	カイザーコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.5kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>	仕上塗料 <sup>※4</sup>
5	仕上塗料 <sup>※4</sup>	仕上塗料 <sup>※4</sup>	仕上塗料 <sup>※4</sup>	—

※1. USボンドに替えてボンドK (0.3kg/m<sup>2</sup>)を使用することもできます。

※2. USプライマー-C30に替えて、USプライマー-C10を使用することもできます。

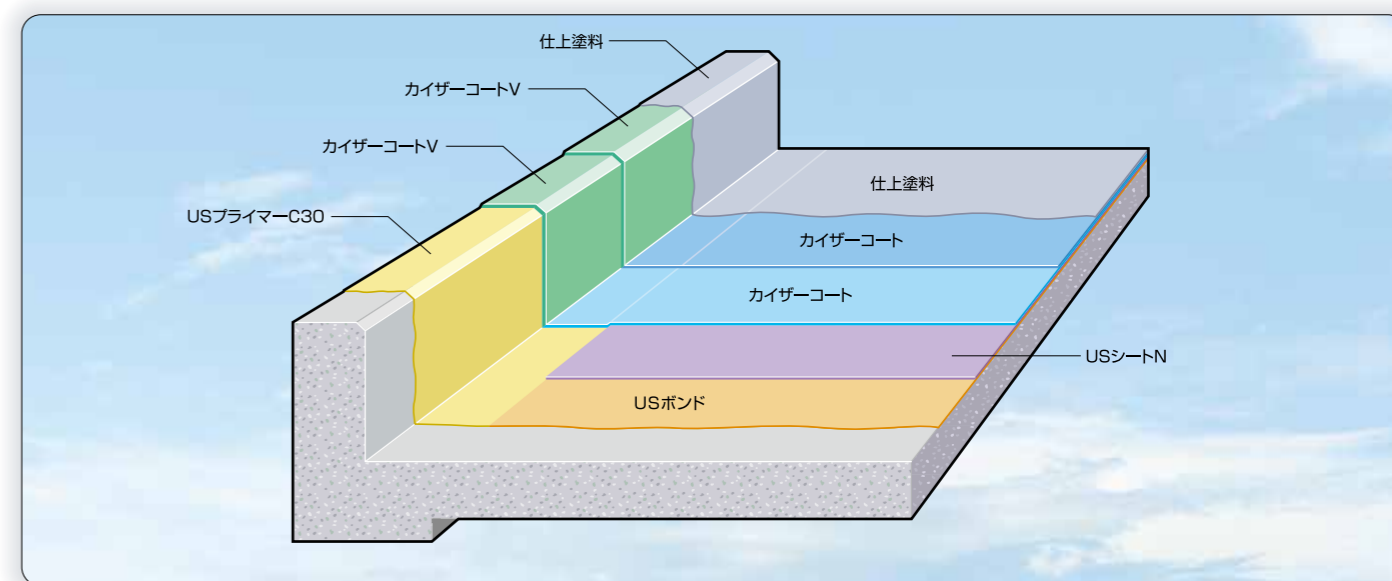
USプライマー-C30 (C10)はUSプライマー-C3 (C1)とポルトランドセメントを重量比1:0.5~1で混合したものです。

ポルトランドセメントの混合無しでも使用可能ですが、混合すると下地からのピンホールを抑制する効果があります。

※3. カイザーコート(主剤+硬化剤)に対して増粘剤を重量比で2~3%添加して使用することもできます。(p.17参照)

※4. 仕上塗料は仕上塗料の仕様から選択できます。(p.3参照)

● カイザーコート類にセピロンSPTナーを混合し着色することで重ねて施工する際の視認性が向上します。(p.17参照)



### 注意事項

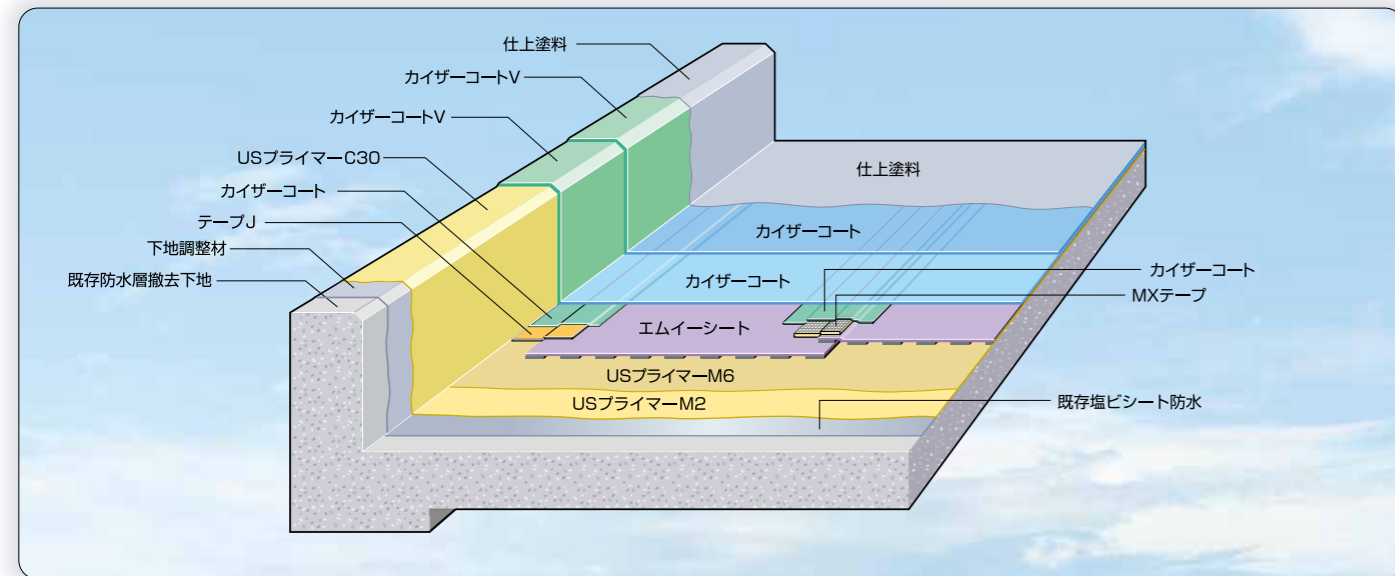
- 塗り継ぎ間隔が3日以上経過した場合は、USプライマー-M6 (0.1kg/m<sup>2</sup>)の塗布が必要になります。
- 脱気装置を50~100m<sup>2</sup>に1個設置してください。
- 冬期はカイザーコートに硬化促進剤を添加することをお勧めします。(p.18参照)



# 改質アスファルトシート複合絶縁工法 (既存塩ビシート防水下地)

仕様記号	KSM-20	KSM-25	KSM-30	KF-20V
防水材 使用量	2.4kg/m <sup>2</sup>	3.0kg/m <sup>2</sup>	3.6kg/m <sup>2</sup>	2.4kg/m <sup>2</sup>
平均 塗膜厚	2.0mm	2.5mm	3.0mm	2.0mm
工程	平 場			立 上 り
1	USプライマーM2 <sup>*1</sup> 0.1kg/m <sup>2</sup>	USプライマーM2 <sup>*1</sup> 0.1kg/m <sup>2</sup>	USプライマーM2 <sup>*1</sup> 0.1kg/m <sup>2</sup>	USプライマーC30 <sup>*2</sup> 0.2kg/m <sup>2</sup>
	USプライマーM6 <sup>*1</sup> 0.1kg/m <sup>2</sup>	USプライマーM6 <sup>*1</sup> 0.1kg/m <sup>2</sup>	USプライマーM6 <sup>*1</sup> 0.1kg/m <sup>2</sup>	
2	エムイーシート (端部処理:テープJ) (接合部処理:MXテープ)	エムイーシート (端部処理:テープJ) (接合部処理:MXテープ)	エムイーシート (端部処理:テープJ) (接合部処理:MXテープ)	カイザーコートV <sup>*3</sup> 1.2kg/m <sup>2</sup>
3	カイザーコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.5kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>	カイザーコートV <sup>*3</sup> 1.2kg/m <sup>2</sup>
4	カイザーコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.5kg/m <sup>2</sup>	カイザーコート 1.8kg/m <sup>2</sup>	仕上塗料 <sup>*4</sup>
5	仕上塗料 <sup>*4</sup>	仕上塗料 <sup>*4</sup>	仕上塗料 <sup>*4</sup>	—

- \*1. USプライマーM2塗布乾燥後にUSプライマーM6を塗布します。
- \*2. USプライマーC30に替えてUSプライマーC10を使用することもできます。  
USプライマーC30(C10)はUSプライマーC3(C1)とポルトランドセメントを重量比1:0.5~1で混合したものです。(既存立上り防水層は撤去を標準とします)  
ポルトランドセメントの混合無しでも使用可能ですが、混合すると下地からのピンホールを抑制する効果があります。
- \*3. カイザーコート(主剤+硬化剤)に対して増粘剤を重量比で2~3%添加して使用することもできます。(p.17参照)
- \*4. 仕上塗料は仕上塗料の仕様から選択できます。(p.3参照)
- 既存防水層の状態によっては、適用外となる場合があります。
- カイザーコート類にセピロンSPTナーを混合し着色することで重ねて施工する際の視認性が向上します。(p.17参照)

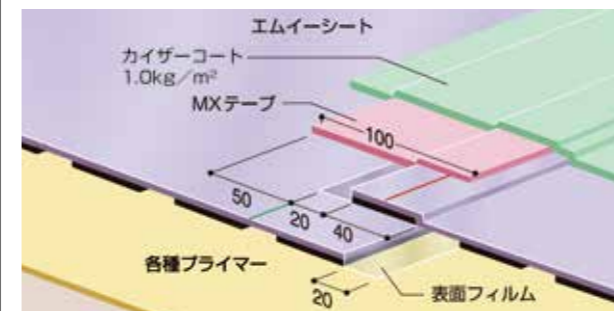


## 注意事項

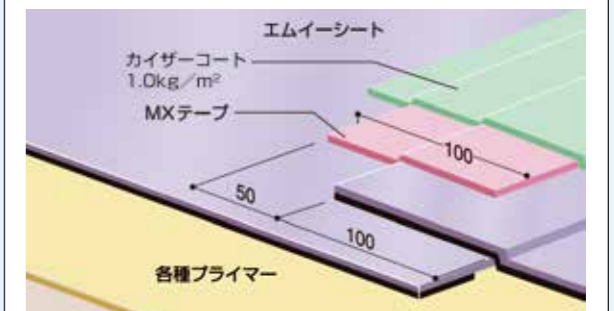
- エムイーシートの接合部には、MXテープで補強処理を行ってください。
- エムイーシートの端部には、テープJで補強処理を行ってください。
- 塗り継ぎ間隔が3日以上経過した場合は、USプライマーM6(0.1kg/m<sup>2</sup>)の塗布が必要になります。
- 脱気装置を50~100m<sup>2</sup>に1個設置してください。
- 冬期はカイザーコートに硬化促進剤を添加することをお勧めします。(p.18参照)

## 施工詳細図

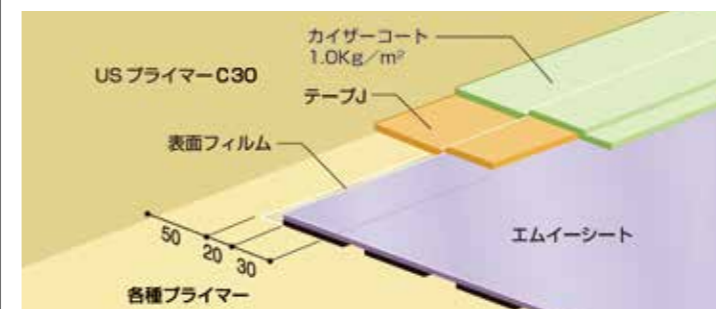
### 長辺接合部処理



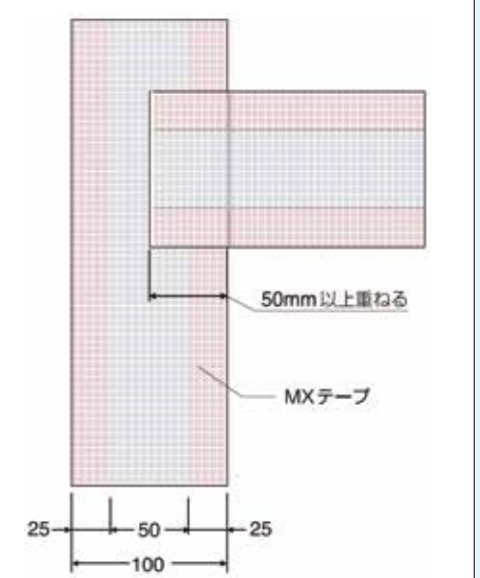
### 短辺接合部処理



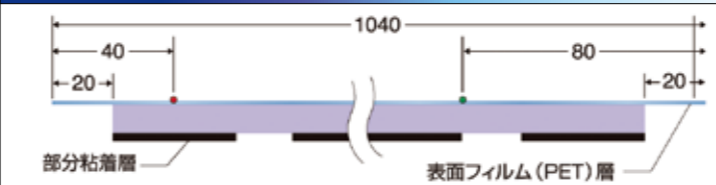
### 端部処理



### 短辺・長辺重ね部



### エムイーシートの幅方向シート断面図



## 作業内容と注意事項

### ■ プライマーの塗布

エムイーシートの端部部分(入隅・コーナー周辺)は特に念入りに塗布します。(薄塗り禁止)

### ■ 墨出し・割り付け

入隅線から50mm程度離れた位置に基準線を引き、墨出し作業を行います。

### ■ エムイーシートの張付け

墨出し線に沿ってエムイーシートを一旦展開し、端部は入隅線から50mm程度離れた位置でカットします。

- ※張り始めシートの表面の赤ラインを水下側にします。
- ① 展開し、位置決めしたシート的一方を一人が足で動かさないように固定し、もう一人がもう片側から半分までシートを巻き戻し、巻き戻したシートの剥離フィルムをハサミ、カッターでカットします。※シート自体を切らないように注意してください。
- ② カットした剥離フィルムを手に持ち、剥離フィルムをゆっくり引きながら、シートを展開し下地に張付けます。
- ③ 張付け後、もう半分の片側のシートを巻き戻し、同様に剥離フィルムをゆっくり引きながら、シートを展開し下地に張付けます。
- ④ 次に張付けるシートは、赤線側の端部を、既に張付けたシートの緑線に合わせて、シートを位置を決めます。
- ⑤ 1巻のシートを張付けたらすぐに全面をゴムローラーで十分に転圧してください。(ローラー刷毛による転圧はしないでください)

### ■ 長辺接合部処理

長辺部はシート同士を40mm程度重ねます。(端部のフィルムを除く)

### ■ 短辺接合部処理

短辺部はシート同士を100mm程度重ねます。

### ■ シート端部の跳ね上がり・反り・浮き防止処理

シートの芯材(ボール紙の芯)に近いほど、巻き癖があります。強い巻き癖は、短辺部や端部の跳ね上がりや浮きになる場合があります。短辺部や端部は、シートを張付ける前に一旦、シートの巻き癖を取るために反対側に(内側)に巻き戻して、テンションを掛けて癖を取ってください。

### ■ 端部処理

エムイーシートの端部が浮いていない事を確認した後、エムイーシートの端部(外側)にテープJ(プサルテープ)を張付け転圧します。

※エムイーシートに浮きや反りがある場合は、必ずこの段階で修正します。(ウレタン塗膜防水材を塗布する前に修正する)

### ■ 増塗り処理

MXテープ及びテープJの上に、カイザーコートを塗布し、増塗りします。カイザーコートの刷毛目等が残ると、仕上がりに影響が出る場合がありますので、増塗りは平滑に仕上げてください。

# 密着工法 (金属屋根下地)

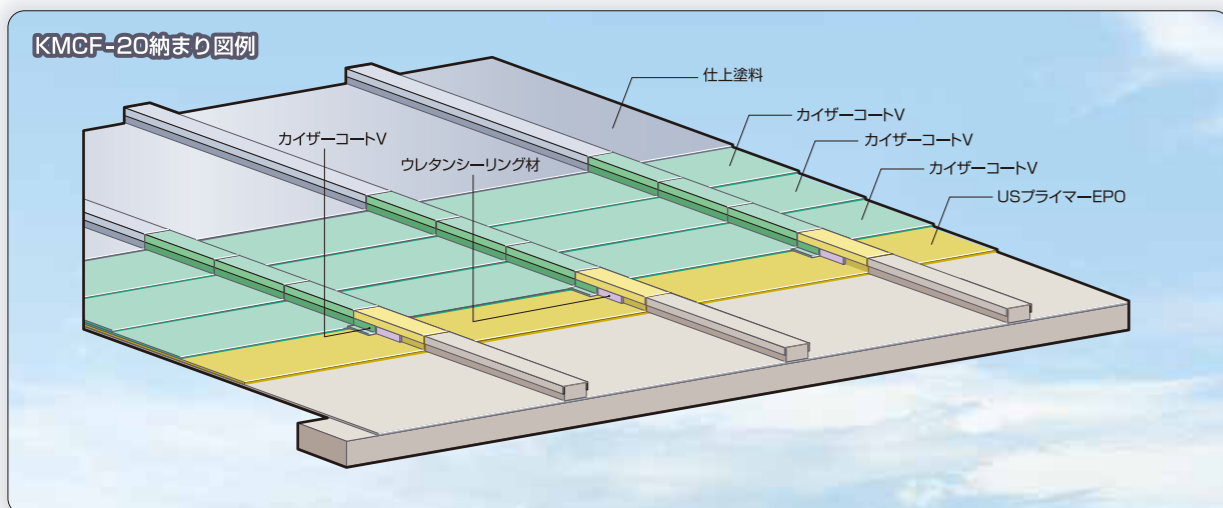
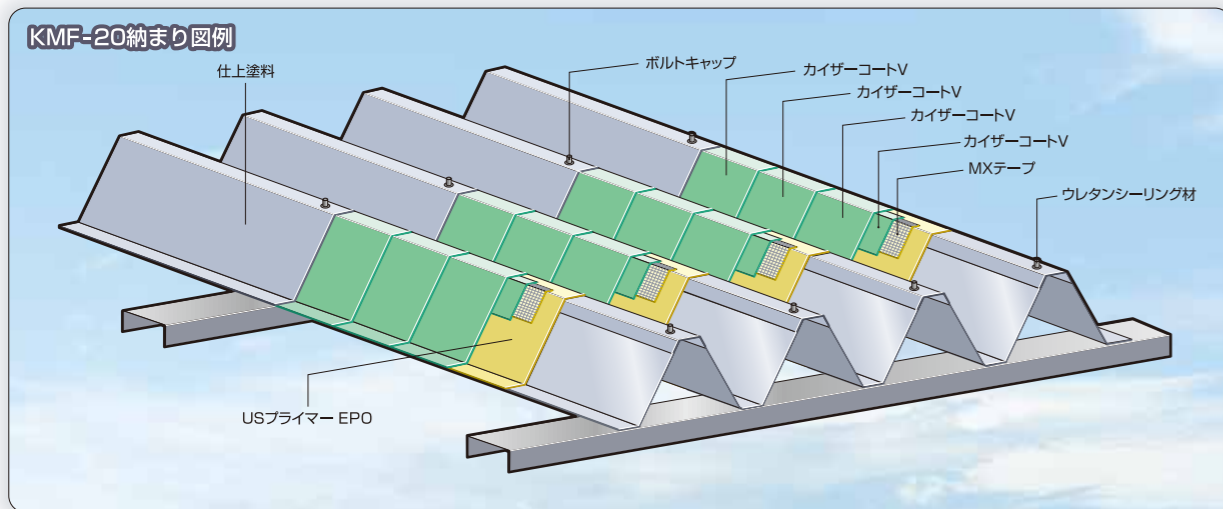
仕様記号	KMF-20
防水材 使用量	2.4kg/m <sup>2</sup>
平均 塗膜厚	2.0mm
工 程	
1	USプライマー-EPO <sup>*1,2</sup> 0.3~0.5kg/m <sup>2</sup>
2	(ジョイント部)MXテープ カイザーコートV <sup>*5</sup> 併用
3	カイザーコートV <sup>*5</sup> 0.8kg/m <sup>2</sup>
4	カイザーコートV <sup>*5</sup> 0.8kg/m <sup>2</sup>
5	カイザーコートV <sup>*5</sup> 0.8kg/m <sup>2</sup>
6	仕上塗料 <sup>*6</sup>

- ※1. 冬期はUSプライマー-EPOに替えてUSプライマー-EPO(W)をご使用ください。(硬化時間は、p.18参照)
- ※2. USプライマー-EPOに替えてUSプライマー-M2+USプライマー-C30を使用することもできます。

工 程	プライマー	使用量
1-1	USプライマー-M2 <sup>*3</sup>	0.1~0.15kg/m <sup>2</sup>
1-2	USプライマー-C30 <sup>*4</sup>	0.1~0.15kg/m <sup>2</sup>

- ※3. USプライマー-M2はキシレンで30%以内の希釈が可能です。
- ※4. USプライマー-C30はUSプライマー-C3とポルトランドセメントを重量比1:0.5~1で混合したものです。USプライマー-M2塗布後、当日中にカイザーコートVを施工する場合は省略できます。
- ※5. カイザーコート(主剤+硬化剤)に対して増粘剤を重量比で2~3%添加して使用することもできます。(p.17参照)
- ※6. 仕上塗料は仕上塗料の仕様の遮熱塗料から選択できます。(p.3参照)
- フックボルトの処理(ボルトキャップまたはウレタンシーリング材)が必要です。(別途)
- 瓦葺き屋根下地の場合、工程3を省略し、仕様記号をKMCF-20とします。またジョイント部の処理(ウレタンシーリング材)が必要です。(別途)
- カイザーコートVにセピロンSPTナーを混合し着色することで重ねて施工する際の視認性が向上します。(p.17参照)

**注意事項** ■ 塗り継ぎ間隔が3日以上経過した場合は、USプライマー-M6(0.1kg/m<sup>2</sup>)の塗布が必要になります。



## ■ 主な材料 (防水材)

### カイザーコート F☆☆☆☆ JIS A 6021 認証品



環境対応型の2成分型ウレタン系平場用防水材です。

規格	16kg/セット (主剤8kg・硬化剤8kg)
色	グレー
硬化物比重	1.2
危険物種別	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:可燃性液体類

### カイザーコートV F☆☆☆☆ JIS A 6021 認証品



環境対応型の2成分型ウレタン系立立面・目止め用防水材です。

規格	16kg/セット (主剤8kg・硬化剤8kg)
色	グレー
硬化物比重	1.2
危険物種別	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:非危険物固体

## ■ 主な材料 (仕上塗料)

### USToppコートEX 高耐候 HALS F☆☆☆☆



環境対応型2成分型アクリルウレタン系トップコートです。カイザーコート類の上に塗布し、耐久性・耐候性を向上させ防水層を保護します。「HALS」を含有しており、耐候性の良好な塗料です。2回塗りすることにより高耐久仕様となります。

規格	15kg/セット (主剤6kg・硬化剤9kg)
色	グレー、トープ、ベージュ
希釈の可否	不可
危険物種別	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:第4類第二石油類



### USToppクールEX 遮熱 高耐候 HALS F☆☆☆☆



遮熱性環境対応型2成分型アクリルウレタン系トップコートです。カイザーコート類の上に塗布し、耐久性・耐候性を向上させ防水層を保護します。耐候性の高い「HALS」を配合し、更に「遮熱性能」を付与させた高耐久塗料です。

規格	15kg/セット (主剤6kg・硬化剤9kg)
色	ライトグレー、ライトグリーン、ベージュ
希釈の可否	不可
危険物種別	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:第4類第二石油類



### USToppコートSi 高耐候 HALS F☆☆☆☆



環境対応型2成分型シリコン変性アクリルウレタン系トップコートです。カイザーコート類の上に塗布し、耐久性・耐候性を向上させ防水層を保護します。耐久性の高い「シリコン」と「HALS」をバランスよく配合した、高耐久塗料です。

規格	15kg/セット (主剤6kg・硬化剤9kg)
色	グレー、トープ、ベージュ
希釈の可否	不可
危険物種別	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:第4類第二石油類



### USToppクールSi 遮熱 高耐候 HALS F☆☆☆☆



遮熱性環境対応型2成分型シリコン変性アクリルウレタン系トップコートです。カイザーコート類の上に塗布し、耐久性・耐候性を向上させ防水層を保護します。耐候性の高い「シリコン」「HALS」を配合し、更に「遮熱性能」を付与させた高耐久塗料です。

規格	15kg/セット (主剤6kg・硬化剤9kg)
色	ライトグレー、ライトグリーン、ベージュ
希釈の可否	不可
危険物種別	主 剤:第4類第二石油類 硬化剤:第4類第二石油類



## ■ 主な材料 (シート類)

### USシートA

ポリエステル繊維系の絶縁(通気緩衝)シートです。通気効果とクラック緩衝効果を併せもちます。帯電防止効果に優れ、冬期の静電気の発生を抑制します。パンチ穴により下地になじみやすく、アンカー効果により下地と一体化させる効果があります。

※USシートA施工後は、目止めとしてカイザーコートVまたは、カイザーコート+増粘剤で施工します。

規 格	1.2m×50m/巻
-----	------------

### エムイーシート

粘着層付改質アスファルト系絶縁シートです。通気効果とクラック緩衝効果を併せもちます。平場で使用し、接合部はMXテープ、端部はテープJを施工した後、カイザーコートで増塗りします。

規 格	1.0m×15m/巻
-----	------------

受注生産: 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

## ■ 主な材料 (プライマー類)

### USプライマー-C3

F☆☆☆☆



環境配慮型弱溶剤1成分型ウレタン系プライマーです。セメントとの混合無しでも使用可能ですが、セメントと重量比1:0.5~1で混合すると、セメント粒子が下地からのピンホールを抑制する効果があります。

規格	17kg/缶入
色	黄褐色透明液体
希釈の可否	不可
危険物種別	第4類第一石油類

### USプライマー-M6

F☆☆☆☆



弱溶剤2成分型エポキシウレタン系プライマーです。主に既存下地がウレタン系防水材の場合のプライマーとして使用します。また、各種仕上塗料の層間プライマーとして使用可能です。

規格	8kg/セット (主剤4kg・硬化剤4kg)
色	主剤:淡黄色透明液体 硬化剤:淡青色透明液体
希釈の可否	不可
危険物種別	主剤・硬化剤:第4類第一石油類

### USプライマー-M2

F☆☆☆☆



溶剤1成分型変性ウレタン系プライマーです。主に金属系の下地や、脱気筒、FRP下地等に塗布して使用します。(下地面のサンディングを推奨します)

規格	0.5、17kg/缶入
色	淡黄色透明液体
希釈の可否	キシレン・トルエン30%まで
危険物種別	第4類第一石油類

### USプライマー-EPO



2成分無溶剤型エポキシ系プライマーです。モルタル、コンクリートや塩ビパイプ等様々な下地に使用可能です。

規格	16kg/セット (主剤12kg・硬化剤4kg)
色	主剤:乳白色 硬化剤:淡黄色
希釈の可否	不可
危険物種別	主剤・硬化剤:第4類第三石油類

## ■ 副資材 (接着剤・テープ類)

### USボンド F☆☆☆☆

無溶剤2成分型ウレタン系接着剤です。主にコンクリート・モルタルと絶縁シートを接着させるために使用します。



規格	10kg/セット (主剤2kg・硬化剤8kg)
危険物種別	主剤:第4類第四石油類 硬化剤:非危険物固体

### ボンドK

溶剤1成分型クロロプレン系接着剤です。主にコンクリート・モルタルと絶縁シートを接着させるために使用します。



規格	15kg/缶
危険物種別	第4類第一石油類

### USテープ



「USシートA(N)」の接合部処理用粘着テープです。シート間の通気性を確保し、より通気効果を高めます。

規格	50mm×50m/巻
----	------------

### MXテープ



「エムイーシート」や金属屋根の接合部処理用テープです。施工後は、カイザーコート類で増塗りします。

規格	100mm×50m/巻
----	-------------

### テープJ



「エムイーシート」の端部処理用テープです。施工後は、カイザーコート類で増塗りします。

規格	100mm×25m/巻 4巻入/箱
----	-------------------

## ■ 副資材 (改修用ドレン)

### NSハイパドレン 非挿入型固定方式と飛散防止機構を備えた改修ドレンです。

#### NSハイパドレンの特長

##### ① 非挿入型固定方式

非挿入型固定方式の採用により筒内部でのゴミ詰まりを防止し排水性能を妨げません。

##### ② 飛散防止機構

飛散防止機構によりドレンキャップ(ストレーナー)の紛失を防ぎドレンの詰まりによるトラブルを防ぎます。

##### ③ 高い空隙率による排水性能

空隙率87%のステンレス製ドレンキャップ(ストレーナー)は高い排水性能を有しています。

##### ④ ハイブリッド構成のメリット

筒部は銅製で酸性雨に対する耐久性が高い素材です。鍍部は鉛製で下地形状に馴染み易く施工性に優れています。



#### ■ 縦型ドレン各サイズ 2個入り/箱(キャップ中サイズ2個同梱)

品番	呼び径φ	筒部サイズ(mm)	
		外径	内径
HDタテ30	φ 30	28.0	27.2
HDタテ40	φ 40	38.0	37.2
HDタテ50	φ 50	48.0	47.2
HDタテ60	φ 60	58.0	57.2
HDタテ70	φ 70	68.0	67.2
HDタテ75	φ 75	73.0	72.2
HDタテ80	φ 80	78.0	77.2
HDタテ90	φ 90	88.0	87.2
HDタテ100	φ100	98.0	97.2
HDタテ120	φ120	118.0	117.2

#### ■ 横型ドレン各サイズ 2個入り/箱(キャップ中サイズ2個同梱)

品番	呼び径φ	筒部サイズ(mm)		
		外径	内径	ホース長
HDヨコ40	φ 40	38.6	32.4	400
HDヨコ50	φ 50	44.5	37.3	400
HDヨコ60	φ 60	59.8	50.6	400
HDヨコ75	φ 75	71.6	62.4	600
HDヨコ90	φ 90	86.4	76.4	600
HDヨコ100	φ100	99.5	88.9	600
HDヨコ120	φ120	112.2	101.6	600

品番	縦型:300mm×300mm 2個/箱
	横型:φ40~60 300mm×300mm 2個/箱 φ75~120 400mm×400mm 2個/箱

## 防水材の着色について

カイザーコート類を次工程で塗布する場合、同じ色のため塗布部分や工程が分かりづらいという難点がありました。カイザーコート類をセピロンSPトナーで着色することで、塗布部分や工程管理の際の視認性が向上します。カイザーコート類の硬化剤にセピロンSPトナーを重量比で1%以下を添加し先混ぜした後、主剤と混合して使用します。

▼カイザーコート(30kg/セット)にセピロンSPトナー(ブルー150g)を硬化剤に先混ぜて混合した際の色の比較



#### セピロンSPトナー

標準添加量:硬化剤に対して0.1~0.5%  
(15~75g)  
最大添加量:硬化剤に対して1%(150g)

## 増粘剤(キャボジール)の添加について

平場用防水材カイザーコートを立上りに使用する場合、増粘剤キャボジールを使用します。カイザーコート類(主剤+硬化剤)に対して重量比でキャボジール2~3%を硬化剤に先混ぜした後、主剤と混合して使用します。

キャボジール  
1セット当たり最大添加量3%  
(900g)

## 硬化促進剤の選択と硬化時間表 (目安)

冬期にカイザーコート及びプライマーを使用する場合は、下表の硬化時間を目安に硬化剤を入れることをお勧めします。

製品名	セット量 (kg)	硬化促進剤	添加量 (g/セット)	硬化時間 (h)		
				5℃	10℃	20℃
カイザーコート*	30	硬化促進剤 VI	無添加	36	28	22
			100	28	22	18
			200	22	12	13
		カイザー用硬化促進剤	50	12(0℃)	—	7
USプライマーC1	17	硬化促進剤 V	200	2	1.5	1
USプライマーC2	16	硬化促進剤 V	200	1	0.5	—
USプライマーC3	17	硬化促進剤 V	200	2	1.5	1
USプライマーM2	17	硬化促進剤 V	200	4	3	2
USプライマーEPO	16	—	—	80	—	14
USプライマーEPO (W)	15	—	—	20(0℃)	16(5℃)	14(15℃)
USボンド (W)*	10	硬化促進剤 V	5	3	—	—
			10	2	—	—

\* 硬化促進剤は、主剤・硬化剤を混合攪拌後に添加するか、硬化剤にあらかじめ添加して使用します。決して主剤には添加しないでください。また、使用においては適正な添加量を守ってください。  
\* カイザー用硬化促進剤とUSプライマーEPO (W)の硬化時間は括弧内の温度をご参照ください。

## 材料一覧表

種類	製品名	内容	荷姿	備考
防水材	カイザーコート	有害物質フリーウレタン塗膜防水材 平場用 JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形・高強度形両規格認証品	主 剤：8kg 硬化剤：8kg	F☆☆☆☆ 硬化物比重：1.2
	カイザーコートV	有害物質フリーウレタン塗膜防水材 立面・目止め用 JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形・高強度形両規格認証品	主 剤：8kg 硬化剤：8kg	F☆☆☆☆ 硬化物比重：1.2
	セピロンコートQ	環境配慮型ウレタン塗膜防水材 平場用 JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形認証品	主 剤：6kg 硬化剤：12kg	F☆☆☆☆ 硬化物比重：1.3
	セピロンコートQV	環境配慮型ウレタン塗膜防水材 立面用 JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形認証品	主 剤：6kg 硬化剤：12kg	F☆☆☆☆ 硬化物比重：1.3
	リファージュコートプラス	環境配慮型ウレタン塗膜防水材 平場用 JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形認証品	主 剤：6kg 硬化剤：12kg	F☆☆☆☆ 硬化物比重：1.3
	リファージュコートプラスV	環境配慮型ウレタン塗膜防水材 立面用 JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形認証品	主 剤：6kg 硬化剤：12kg	F☆☆☆☆ 硬化物比重：1.3
増粘剤	増粘剤(キャボジール)	カイザーコート立面施工用粉末型増粘剤 硬化剤に必要量を予備混練	5kg/袋	添加量 0.6~0.9kg/セット
仕上塗料	US トップコートEX	環境対応型アクリルウレタン系トップコート グレー、トープ、ベージュ (グレー以外、受注生産)	主 剤：6kg 硬化剤：9kg	F☆☆☆☆ HALS 含有
	US トップクールEX	環境対応型アクリルウレタン系遮熱性トップコート ライトグレー、ライトグリーン、ベージュ (全て受注生産)	主 剤：6kg 硬化剤：9kg	F☆☆☆☆ HALS 含有
	US トップコートSi	環境対応型シリコン変性アクリルウレタン系高耐久トップコート グレー、トープ、ベージュ (グレー以外、受注生産)	主 剤：6kg 硬化剤：9kg	F☆☆☆☆ HALS 含有
	US トップクールSi	環境対応型シリコン変性アクリルウレタン系高耐久遮熱性トップコート ライトグレー、ライトグリーン、ベージュ (全て受注生産)	主 剤：6kg 硬化剤：9kg	F☆☆☆☆ HALS 含有
	US トップコートQ	環境配慮型アクリルウレタン系トップコート ライトグレー、グレー、グリーン、トープ、ベージュ (ライトグレー、グレー、グリーン以外、受注生産)	主 剤：7kg 硬化剤：7kg	F☆☆☆☆
	US トップクール	環境配慮型アクリルウレタン系遮熱性トップコート ライトグレー	主 剤：7kg 硬化剤：7kg	F☆☆☆☆

種類	製品名	内容	荷姿	備考
プライマー	US プライマーC1	コンクリート・モルタル用 (一般部用)	17kg	F☆☆☆☆
	US プライマーC2	コンクリート・モルタル用 (脆弱部用)	16kg	F☆☆☆☆
	US プライマーC3	コンクリート・モルタル用 (環境配慮型弱溶剤系プライマー)	17kg	F☆☆☆☆
	US プライマーM2	金属、その他多目的用	0.5kg、17kg	F☆☆☆☆
	US プライマーM6	ウレタン・トップコート用	主 剤：4kg 硬化剤：4kg	F☆☆☆☆
	US プライマーEPO	2成分無溶剤型エポキシ系プライマー	主 剤：12kg 硬化剤：4kg	—
	US プライマーEPO (W)	2成分溶剤型エポキシ系プライマー	主 剤：10kg 硬化剤：5kg	使用可能温度 15℃以下
	US プライマー M4E	3成分水系プライマー	混和液 (A液：4kg・B液：4kg) 粉 体：8kg	KCS仕様、 KCR仕様専用
	カスタムプライマーE	水性系ゴムアスファルトプライマー	16kg	エムイーシート施工用
	カスタムプライマー	溶剤系ゴムアスファルトプライマー	16kg	エムイーシート施工用
シート	US シートA	絶縁工法用シート (穴ありタイプ)	1.2m×50m	アクリル/ ポリエステル繊維不織布
	US シートN	絶縁工法用シート (穴無しタイプ)	1m×50m	ポリエステル繊維不織布
	エムイーシート	複合絶縁工法用改質アスファルトシート	1m×15m	—
クロス	クロスK	補強布 (合成繊維)	1.02m×50m	ドレン・役物回り等に使用 する場合があります。
	クロスG	補強布 (ガラスクロス)	1.04m×100m	//
	クロスKN	粘着層付補強布 (合成繊維)	100mm、200mm×50m	//
下地調整材	マルエスシーラー	溶剤系アスファルト系下地調整材	20kg	塗布量 0.8~1.2kg/㎡
	AQシーラー	水性系アスファルト系下地調整材	A 剤：17kg B 剤：18kg×2袋	塗布量 1.0~2.0kg/㎡
	フィットリーチ	水性アクリル樹脂系下地調整材	29kg (主 剤：25kg+ 混和剤：4kg)	塗布量 1.65~3.3kg/㎡
	フィットネオ	1液型水性特殊アクリル系下地調整材	16kg/缶	塗布量 1~1.5kg/㎡
副資材	US ボンド	2成分無溶剤型ウレタン系接着剤	主 剤：2kg 硬化剤：8kg	F☆☆☆☆
	ボンドK	1成分クロロレンゴム系接着剤	15kg/缶	—
	トップフィラー	粗面仕上用無機質系フィラー	0.42kg/袋	トップコート1セット 当たり1袋配合
	US テープ	US シート用ジョイントテープ	50mm×50m	—
	MX テープ	エムイーシート、金属屋根用ジョイントテープ	100mm×50m	—
	テープJ	エムイーシート用端末テープ	100mm×25m 4巻入/箱	—
	マルエス水切テープ	バラベットアゴ下専用防水テープ	50mm×50m	—
	メジテープ	目地処理用粘着層付金属テープ (受注生産)	100mm×16m t=1.0mm	—
	トップコートシンナー	専用希釈剤	14kg/缶	—
	脱気太郎	ステンレス製脱気装置	2個/箱	—
	NSハイパドレン	飛散防止機構付改修ドレン	2個/箱	—
	セピロンSPTナー	防水材用トナー ブルー (受注生産)	8kg/缶 700g/ビン	添加量：硬化剤に対して 重量比で1%以下混ぜ
	だれ止め剤	防水材立面用だれ止め剤	1kg	添加量：カイザーコートV 1セット当たり110g以下
	硬化促進剤V	プライマー、接着剤用硬化促進剤	200g/缶	—
	硬化促進剤VI	防水材用硬化促進剤	1kg/缶	—
カイザー用硬化促進剤	カイザーコート、カイザーコートV専用 硬化促進剤 (速硬化型)	500g/缶	—	

受注生産：納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。  
※ その他の副資材の詳細については、「セピロン防水」や「リファージュプラス」専用カタログをご参照ください。